

| 項目 | 確認事項 | 届出内容 |
|-----------------------|--|--|
| 基本情報 | 大学等名1(代表大学等) | 東京家政大学 |
| | 大学等名1(代表大学等)※カナ | トウキョウカセイダイガク |
| | 大学等名1(代表大学等)※学校コード | F113310103251 |
| | 大学等名1(代表大学等)学校本部所在地 | 東京都 |
| | 大学等名1(代表大学等)学校種別 | 私立大学 |
| | 科目名 | キャリア形成支援講座 |
| | 学部・研究科等名 | 家政学部・人文学部 |
| | 担当教職員名・役職 | 三浦正江：教授 |
| | 受講者数実績年度 | 令和3年度 |
| | 受講者数※インターンシップ参加者数 | 42 |
| | 受入企業等数 | 20 |
| | 受入企業等名 | (株)広済堂ネクスト、(一社)くらしサポート・ウィズ、板橋区立エコポリスセンター、(株)美創企画、(株)ウチダシステムズ、丸三証券(株)、TAKAMI HOLDINGS(株)、(株)吉岡屋、(株)セキ薬品、(株)カワチ薬品、ウエルシア薬局(株)、(医)桐和会グループ、東京菅公学生服(株)、東京納品代行(株)、(株)シップス、(株)ストライプインターナショナル、(株)IKGプロフェッショナルパートナーズ、ロケーションリサーチ(株)、文部科学省、千葉市、他6社 |
| | インターンシップの分類 | 1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 5.他県をまたぐ広域インターンシップ 6.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ |
| 上記以外のインターンシップの分類(記述欄) | | |
| 要素① | 1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。 | 1.はい |
| | 1-2.該当する就業体験 | 1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等) |
| | 1-2.で「3.その他」の就業体験の内容 | |
| | 1-3.上記回答内容に関する詳細 | 対面:店舗における業務(接客・販売等)、事務、営業、企画、デザイン・制作補助、商品の検品等商品管理業務、意見交換、プレゼンテーション(企業による) オンライン:SWOT分析を用いたグループワーク、テーマ討議、店舗見学(WEB版)等(企業による) |
| | 2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。 | 1.はい |
| | 2-2.該当するインターンシップの内容 | 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している 9.その他 |
| | 2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容 | 当該インターンシップは、共通教育科目 人間力育成実践科目として実施している。 |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 要素② | 2-3.当該インターンシップを実施する年次 | 大学 学部1年 |
| | | 大学 学部2年 |
| | | 大学 学部3年 |
| | 2-4.当該インターンシップで付与される単位数 | 大学 2単位 |
| | 2-5.上記回答内容に関する詳細 | 学部1～3年次を対象。原則として休業期間中に実施。5日間及び35時間以上の実習と合わせて、事前指導、実習日誌の作成、事後プログラムへの参加、報告書提出をもって、単位認定対象とする。 |
| 要素③ | 3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。 | 1.はい |
| | 3-2-1.該当する事前学習の内容 | 1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている |
| | | 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている |
| | | 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている |
| | 3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容 | |
| | 3-2-2.該当する事後学習の内容 | 1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている |
| | | 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている |
| | 3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容 | |
| | 3-2-3.該当するモニタリング | |
| | 3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容 | |
| 3-3-1.事前学習の内容に関する詳細 | 一般的なビジネスマナーについて動画学習・感想文提出、集合研修によりインターンシップで求められるマナー・心構えを習得 | |
| 3-3-2.事後学習の内容に関する詳細 | 実習日誌を作成し現場での実習内容の振り返りを行う。集合研修によりインターンシップで学んだ自己の経験を振り返り、自身への定着を図る。また自身の個人発表、他者の個人発表とグループ発表を経験し、発信力を身につける。 | |
| 3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細 | | |
| 要素④ | 4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。 | 1.はい |
| | 4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み | 1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている |
| | 4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み | |
| | 4-3.上記回答内容に関する詳細 | 事前学習時と事後学習時にアンケートを行い、学生の意識・行動変容の確認を行っている。 |
| | 5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。 | 1.はい |

| | | |
|--------|--|---|
| 要素⑤ | 5-2.該当する実施期間 | 1.連続した5日間以上の実施期間を確保している |
| | 5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合 | 5日～半年間（企業による） |
| | 5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合 | |
| | 5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合 | |
| | 5-2.「4.その他」の実施期間の内容 | |
| | 5-3.上記回答内容に関する詳細 | 約半年間の課題協働型インターンシップも行っている |
| 要素⑥ | 6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。 | 1.はい |
| | 6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容 | 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している |
| | 6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容 | |
| | 6-3.上記回答内容に関する詳細 | 受入企業が評価票を作成し大学より学生にフィードバックをしている。また希望があれば応募時に企業による面接・顔合わせを行っている。 |
| | 7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL | https://www.tokyo-kasei.ac.jp/career/2021d_INTERNSHIP_1.pdf |
| 問い合わせ先 | 大学等名 | 東京家政大学 |
| | 担当部署名 | 学生支援センターキャリア支援課 |
| | 担当者役職名 | 書記 |
| | 担当者氏名 | 大平 幸香 |
| | 電話番号 | 03-3961-2284 |
| | メールアドレス | internship@tokyo-kasei.ac.jp |